

卒業生アンケート集計結果（概要）（2025年5月実施）

キャリア支援課

■アンケート対象	2022年3月卒業生（大学・短大）卒業後3年
■アンケート期間	2025年5月7日～5月31日
■対象人数	255名 【大学95、国際71、幼教89】
■回答数・回答率	47名【大学25、国際9、幼教13】（18.4%） ※ 昨年度23.7%

1. 卒業後から現在の就職状況について

約7割の卒業生が卒業後最初の就職先で現在も就業している。（大学68%、国際66%、幼教77%）
回答者のうち、離職者の割合は約3割であった。離職した理由として多かったのは、「仕事内容」「職場の雰囲気」「人間関係」であった。特に、大学では「仕事内容」、国際では「職場の雰囲気」、幼教では「人間関係」、「職場の雰囲気」と回答した人数が多かった。一方で、少数ながらキャリアアップのための転職と答えた卒業生もいた。

2. 社会に出て仕事をしてみて感じたことについて

大学での学び・経験についての設問への回答は、「経験していない」の割合が高い一人暮らしの経験やインターンシップを除き、どの学科でも、ほとんどの設問に対して「役に立っている」「まあ役立っている」と答えた回答者が過半数を占めた。共通して肯定的な回答の割合が高かったのは、「アルバイト」と「友人・先輩との交流」であり、公私ともに充実した学生生活を送ることができた卒業生が多かったことが推察される。

◆大学

人間学部で、「役に立っている」の回答が多かったのは資格の取得である。一方で、資格の取得に関しては「役に立っていない」の回答も多かった。資格取得に力を入れた卒業生とそうでなかった卒業生の間で意識の差があると考えられる。「役に立っている」「まあ役立っている」を合計した肯定的な回答に関しては、全学共通科目の授業が85%を超え、高い割合であった。

◆国際コミュニケーション科

国際コミュニケーション科は、ゼミ・卒業研究に関する設問で「役に立っている」と回答した卒業生が多いのが特徴的である。

◆幼児教育科

幼児教育科では、資格の取得に関しての設問に対して、回答者の100%が「役に立っている」と回答した。また、専門科目の実践・実習に関して85%が「役に立っている」、15%が「まあ役立っている」と回答し、回答者全員が肯定的な回答をしている。

3. 在学中のことを振り返って

「学生時代に身につけた知識・スキル」は実社会で役に立っていると思いますか？という設問に対して、どの学科も共通して肯定的な回答の割合が高かったのはコミュニケーション能力で、98%の卒業生が実社会で「役に立っている」「まあ役立っている」と回答している。

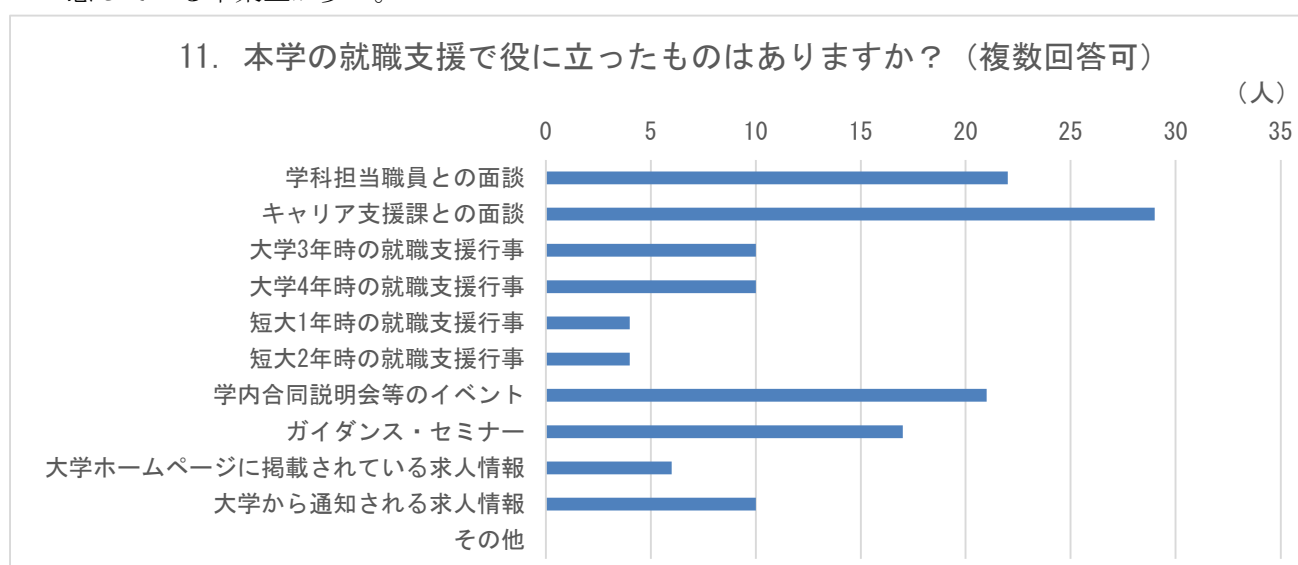
本学が掲げる「学位記授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」を基に作成したカリキュラムマップ

により学生時代に身につけた能力は実社会で役に立っていると思いますか？という設問は、各学科で選択肢が異なる。「役立っている」「まあ役立っている」と回答した割合（100％肯定的な回答であった場合はより「役立っている」の割合が高い方）が高い設問は学科別に以下のとおりである。

- ・人間学部：他者尊重
- ・国際：行動する力
- ・幼教：保育実践の思考力や課題解決能力、行動力の基礎の修得

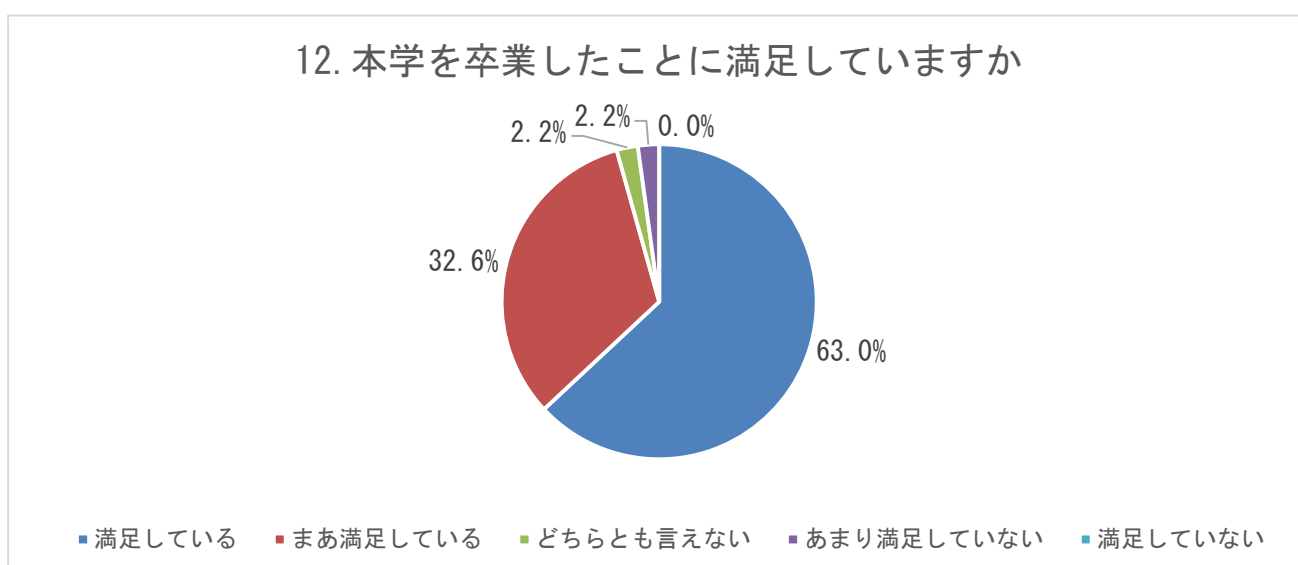
4. キャリア支援に関して

本学の就職支援で役に立ったものはありますか？への回答は、教職員との面談と答えた卒業生が過半数を占めている。また、学内合同説明会等のイベントやガイダンス・セミナーも役に立ったと感じている卒業生が多い。



5. 本学を卒業したことへの満足度について

95%以上の卒業生が「満足している」「まあ満足している」と回答している。キャリア支援課としてもこの結果を維持できるような支援を継続していきたいと考える。



以上

2025 年 5 月実施『2022 年 3 月 卒業生アンケート』結果

キャリア支援課

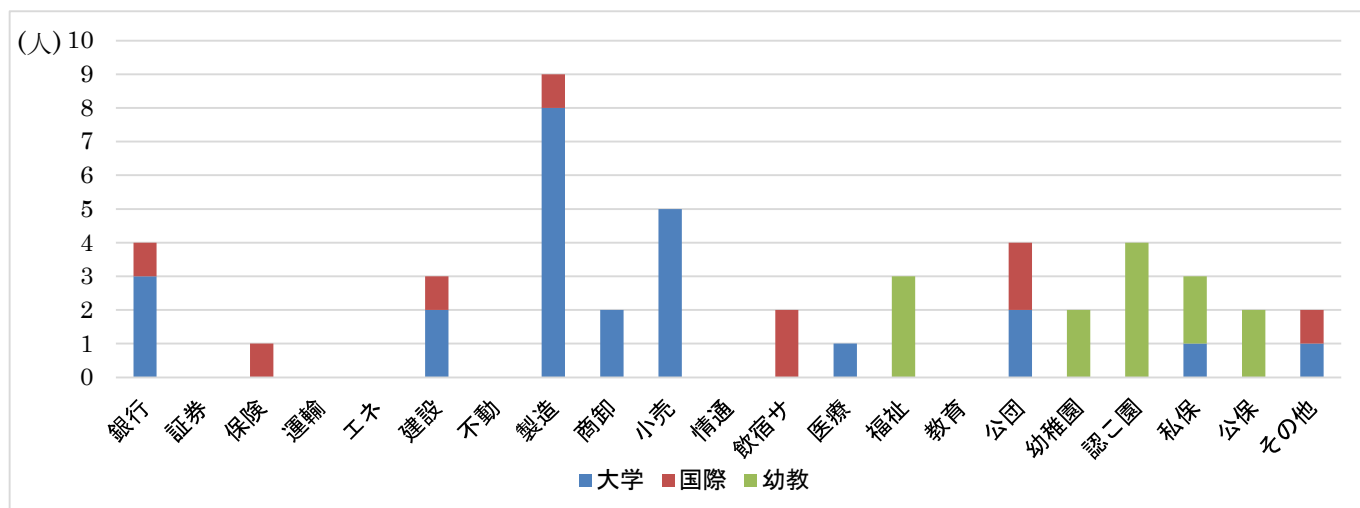
	対象人数	回答人数	回答率
大 学	95	25	26.3%
国 際	71	9	12.7%
幼 教	89	13	14.6%
合 計	255	47	18.4%

(昨年度 23.7%)

1. 大学を卒業して最初に勤めた就職先の「業種」を以下の中よりお選びください

(業 種)

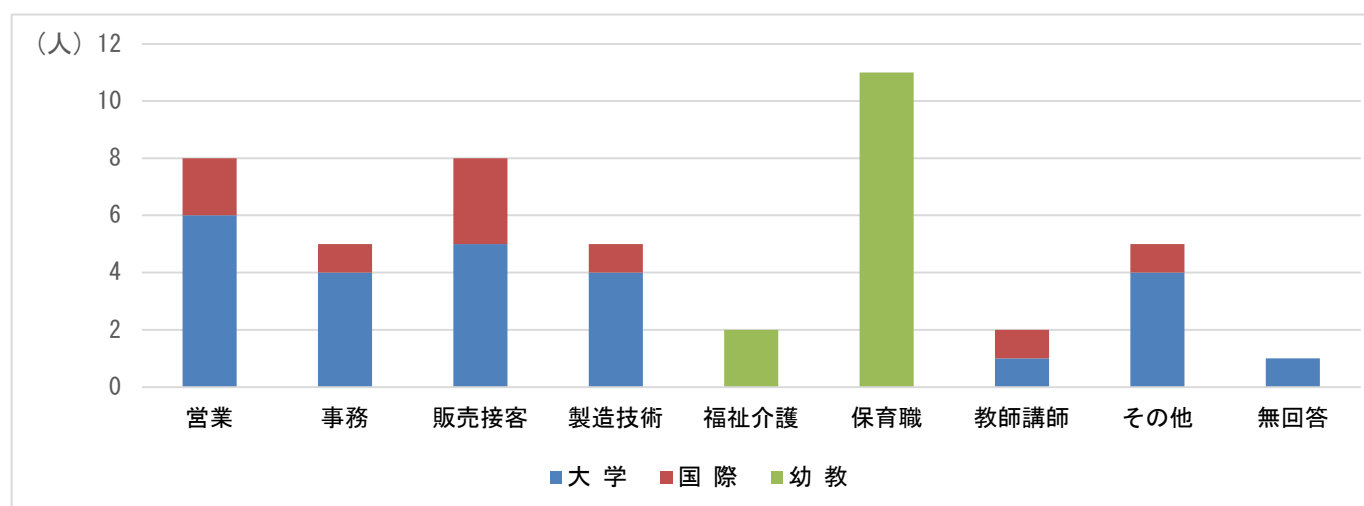
	銀行	証券	保険	運輸	エネ	建設	不動産	製造	商卸	小売	情通	飲宿サ	医療	福祉	教育	公団	幼稚園	認可園	私保	公保	その他
大学	3	0	0	0	0	2	0	8	2	5	0	0	1	0	0	2	0	0	1	0	1
国際	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	1
幼教	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	2	4	2	2	0
合計	4	0	1	0	0	3	0	9	2	5	0	2	1	3	0	4	2	4	3	2	2



2. 大学を卒業して最初に勤めた就職先の「職種」を以下の中よりお選びください

(職 種)

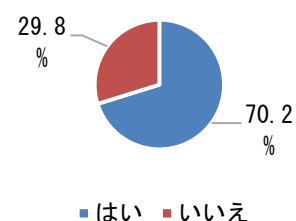
	営業	事務	販売接客	製造技術	福祉介護	保育職	教師講師	その他	無回答
大 学	6	4	5	4	0	0	1	4	1
国 際	2	1	3	1	0	0	1	1	0
幼 教	0	0	0	0	2	11	0	0	0
合 計	8	5	8	5	2	11	2	5	1



3. 大学を卒業して最初に勤めた就職先に現在もお勤めですか

	はい (継続)	いいえ (退職)
大学	17	8
国際	6	3
幼教	10	3
合計	33	14

3. 大学を卒業して最初に勤めた就職先に現在もお勤めですか



3で「はい」と回答した方

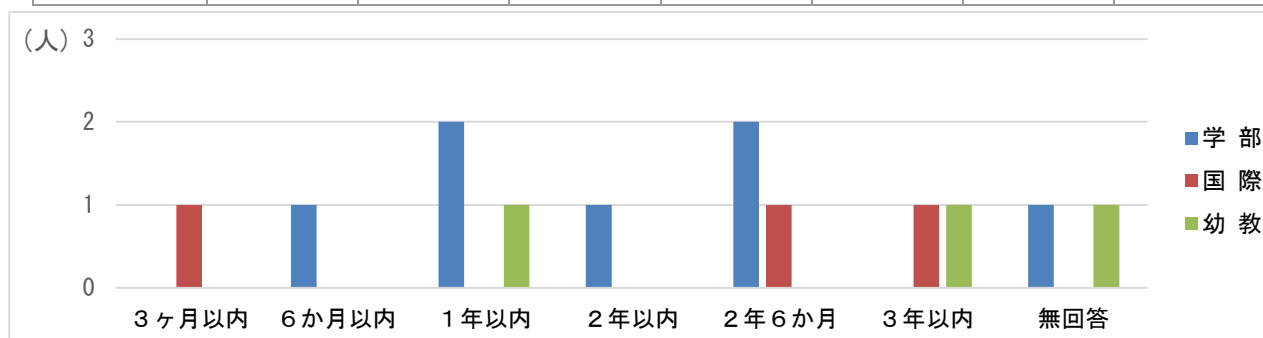
4. 後輩の在学生に対して現在の勤務先への就職を勧めますか

	強く勧める	勧める	どちらともいえない	あまり勧めない	勧めない	無回答
大学	1	8	3	5	0	8
国際	2	0	3	1	0	3
幼教	4	3	0	3	0	3
合計	7	11	6	9	0	14

3で「いいえ」と回答した方

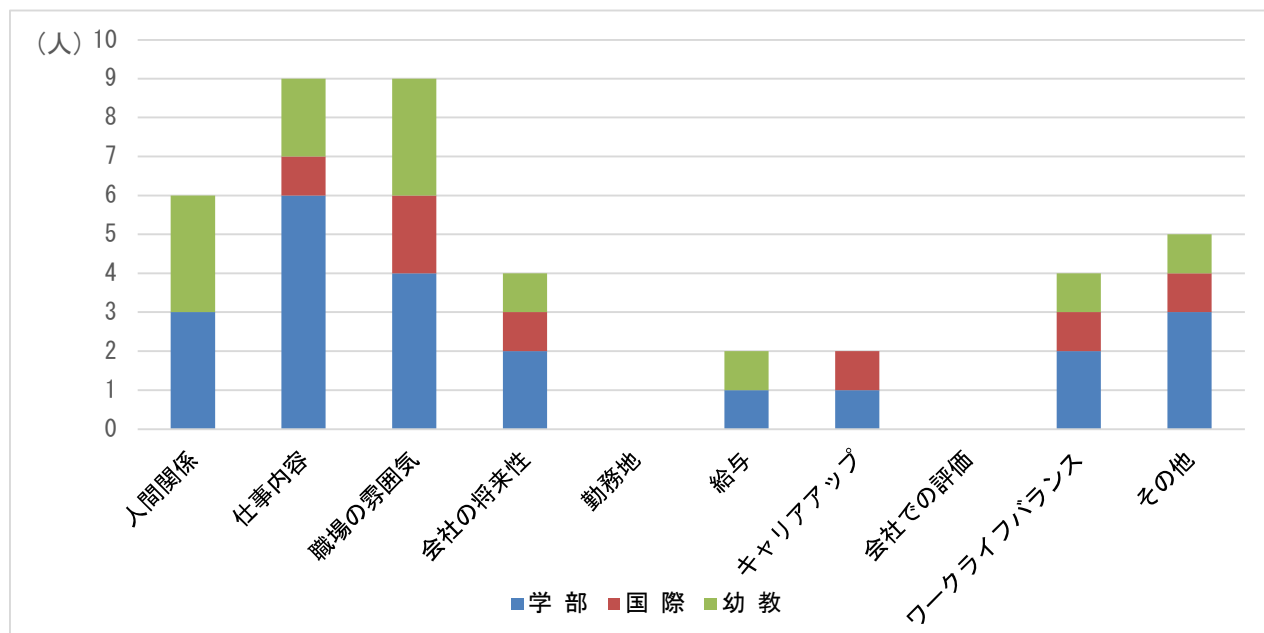
5. 大学卒業後、就業期間はどのくらいでしたか

	3ヶ月以内	6か月以内	1年以内	2年以内	2年6か月	3年以内	無回答
大学	0	1	2	1	2	0	1
国際	1	0	0	0	1	1	0
幼教	0	0	1	0	0	1	1
合計	1	1	3	1	3	2	2



6. 離職された理由を教えてください（複数回答可）

	人間関係	仕事内容	職場の 雰囲気	会社の 将来性	勤務地	給与	キャリア アップ	会社での 評価	ワークライ フバランス	その他
大 学	3	6	4	2	0	1	1	0	2	3
国 際	0	1	2	1	0	0	1	0	1	1
幼 教	3	2	3	1	0	1	0	0	1	1
合 計	6	9	9	4	0	2	2	0	4	5



2025 年度 短期大学卒業生調査報告（抜粋）

1、報告要旨

本報告は、2022 年 3 月の卒業生を対象に行った「卒業生アンケート」を基に、本学でのキャリア支援と学びの有用性などをまとめたものである。

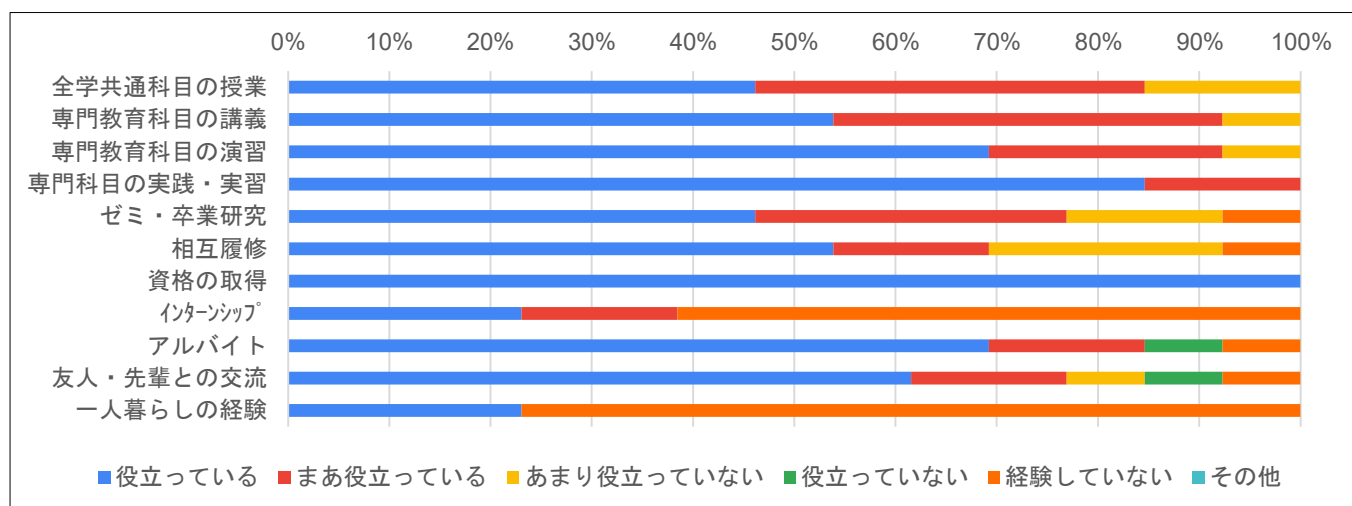
幼児教育科では保育に関する専門的な知識や技術、国際コミュニケーション科では幅広い知識と教養で肯定的な回答が多くなっている。また、どちらの学科でも共通しているのは本学で身につけたコミュニケーション能力が「役立っている」と感じている卒業生が多いという点である。

本アンケートは、2025 年 5 月に対象者 160 名中 22 名より回答を得た。回答者内訳は、幼児教育科 13 名、国際コミュニケーション科 9 名であった。

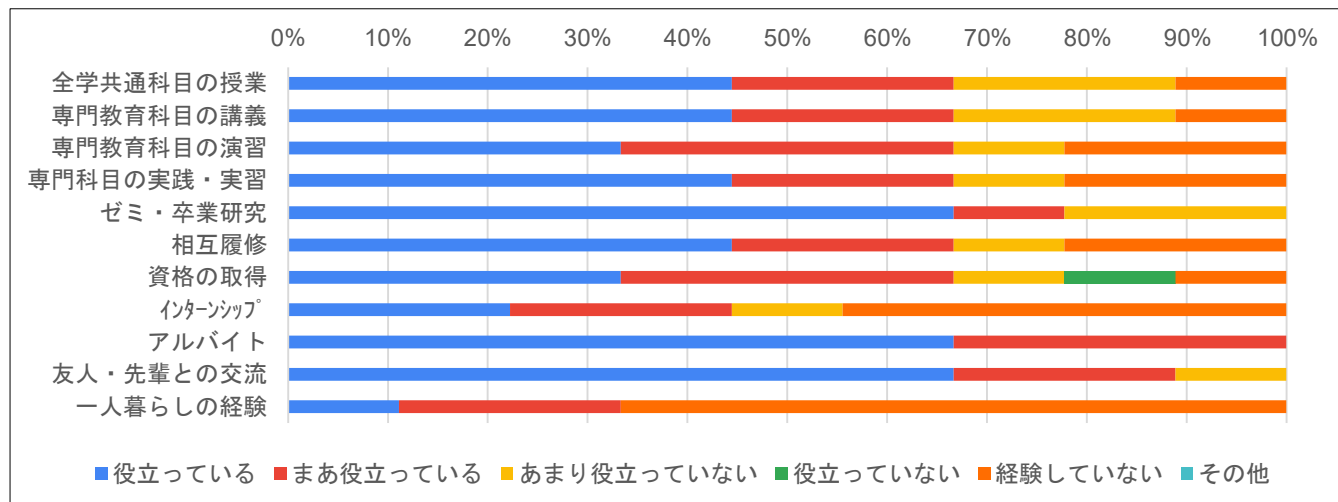
2、結果の概要

Q.社会に出て仕事をしてみて感じたことについて

■ 幼児教育科

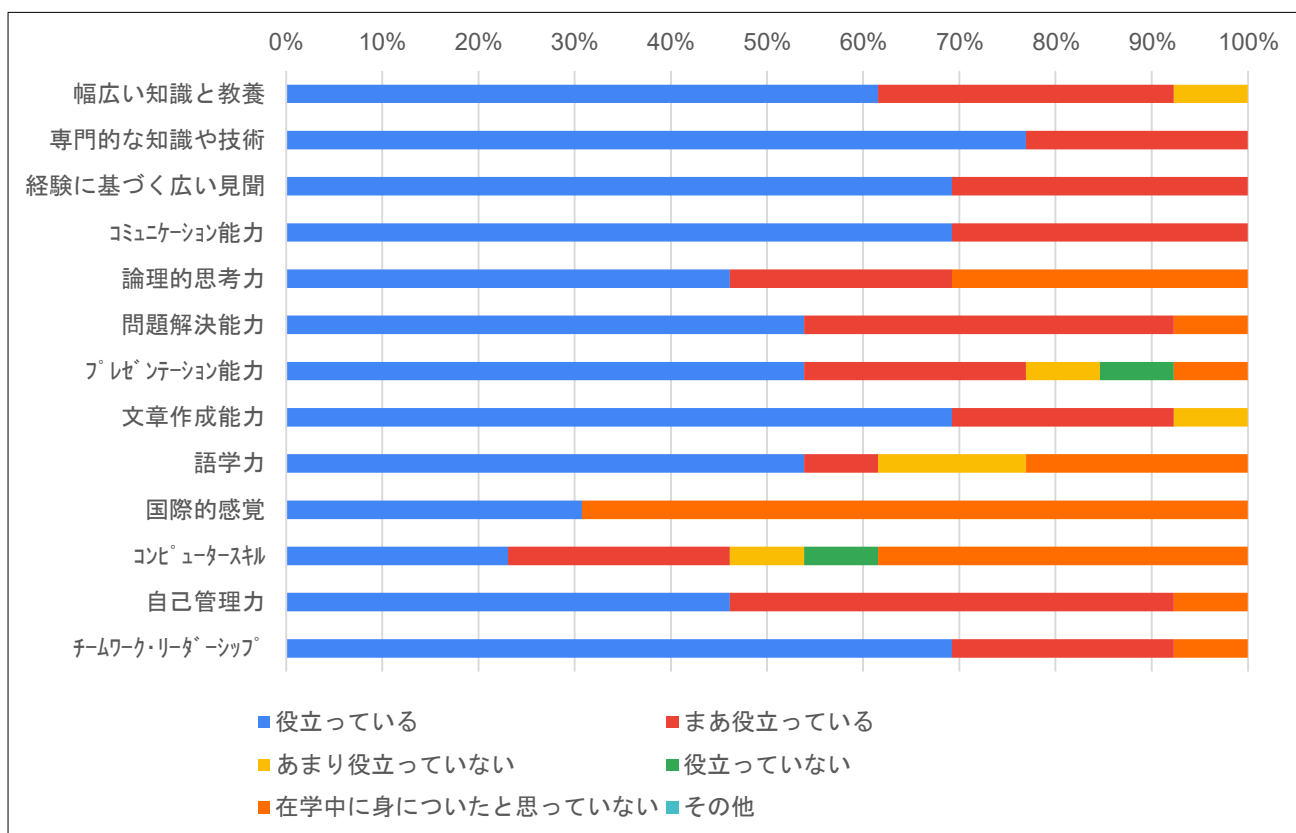


■ 国際コミュニケーション科

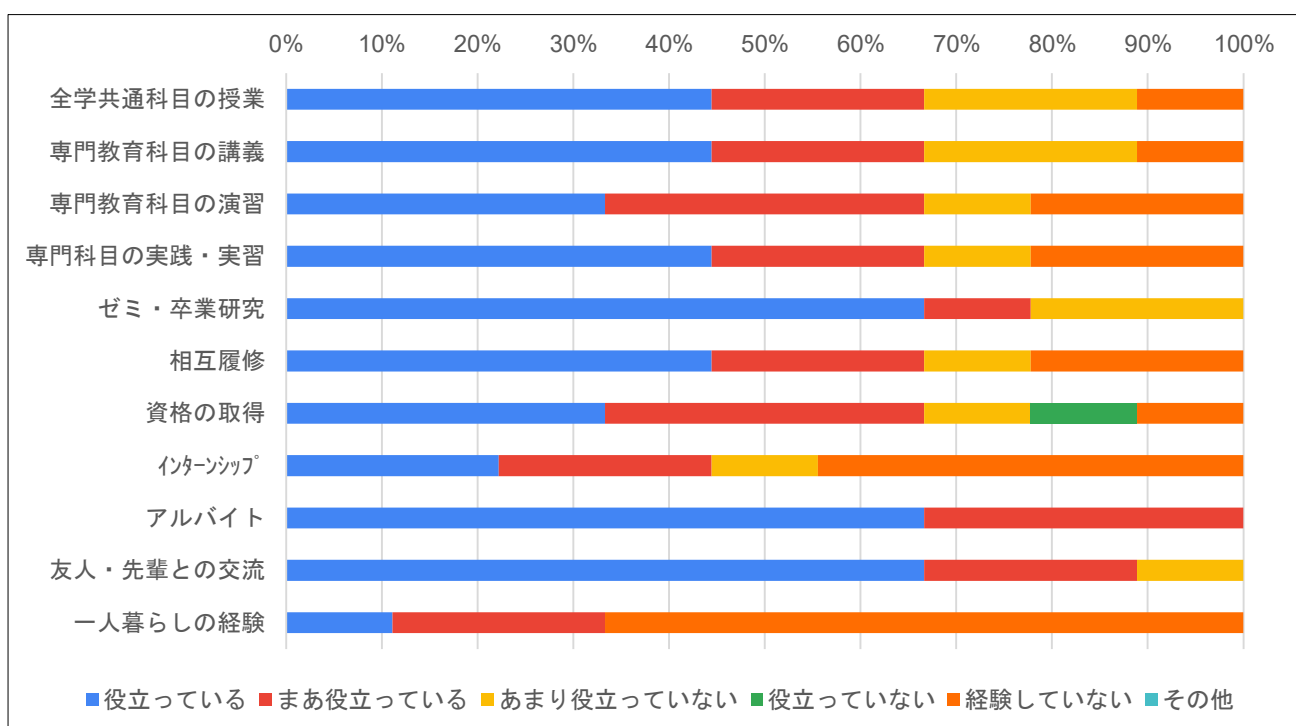


Q.「学生時代に身につけた知識・スキル」は実社会で役に立っていると思いますか

■幼児教育科

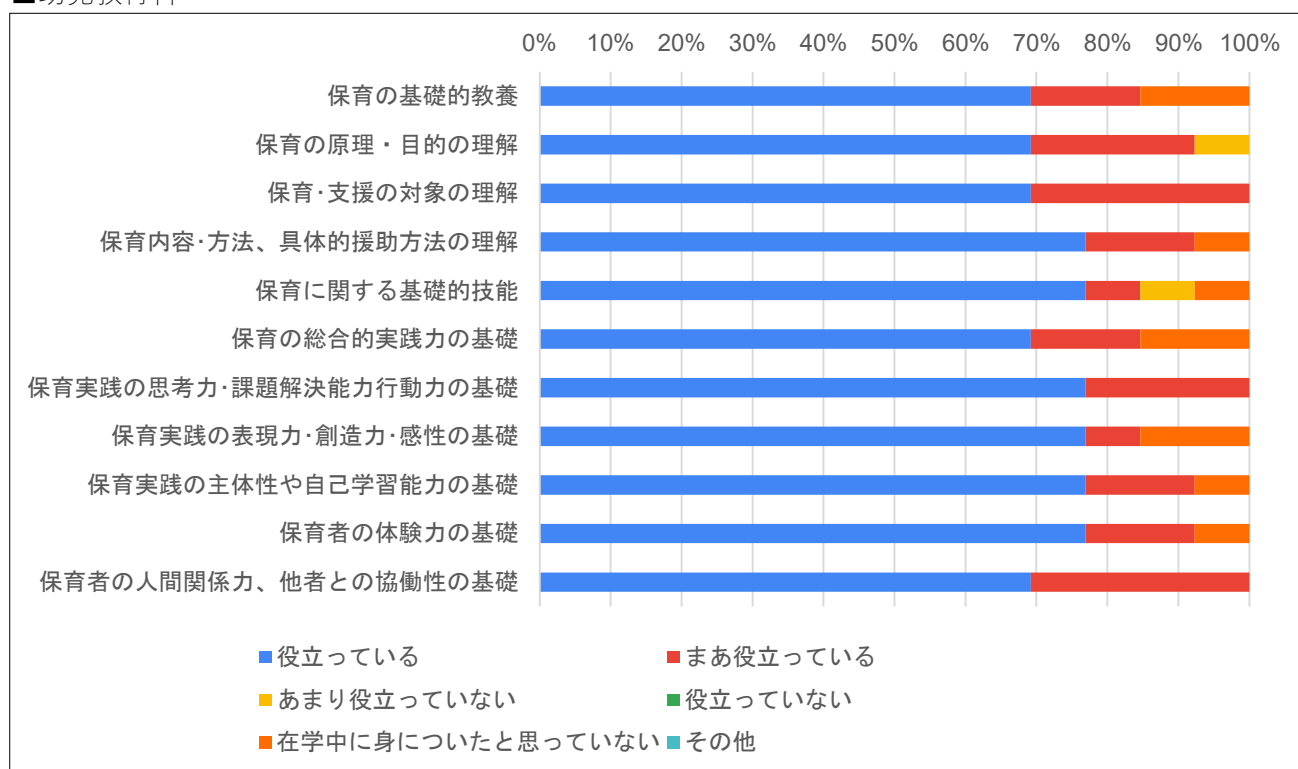


■国際コミュニケーション科



Q.「学位記授与の方針（DP）」を基に作成したカリキュラムマップにより学生時代に身につけた能力は実社会で役に立っていると思いますか

■幼児教育科



■国際コミュニケーション科

